

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		令和(元)年度
		書いてみよう、伝えてみよう
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	iPadで書いてみよう
	授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> 物の名前を正しく表記する。 なぞり書きをする。
	学力の3要素	<input type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (2)年 (1)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input checked="" type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 <ul style="list-style-type: none"> 平仮名は読めるが、発音して人に伝えることが難しい。 なぞり書きが難しく、書字ができない。
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input checked="" type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) <ul style="list-style-type: none"> 物の名前を表記する。 自分の要求や思い、挨拶などを文字で伝える。 書字の練習をする。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器: iPad アプリケーション: かなトーク しゃべって hiragana    
授業展開	授業展開・支援の手立て	<p>「かなトーク」「しゃべって」を使用し、絵カードなどを見てその名称を入力した。聞こえ方と文字にずれがあり、時々誤字があった。朝の会や帰りの会の当番の挨拶、要求を伝える際にも使用した。挨拶は、毎日使う言葉なので、スムーズに入力して音声で再生することができた。要求を伝える場面でも、「えほんをください。」「ふあすなーをしてください。」など自分の欲しい物、してほしいことなどを伝えることができた。</p> <p>「hiragana」を使って、なぞり書きの練習をした。早く終わようと雑になりがちだったが、なぞり線からそれると次に進まないため、何回か失敗するとしっかり見て取り組むようになった。物の名前を平仮名で構成する学習では、適当に押して音を楽しむ様子も見られたが、3～5文字で表す物の絵を見て、「みかん」などと押していた。</p> 
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	<p>意欲的に課題に取り組むようになった。少しのタッチミスで、間違えたり、画面が変わってしまったりするため、他のアプリを探していきたい。日常的な要求は、比較的正確に入力して伝えることができた。保護者に伝えると、「家では音楽を聴くことなどにしか使っていないので、違う使い方ができてよかった。将来的に、家でも要求伝達などで使っていけたらよいと思う。」と言っておられた。</p>